

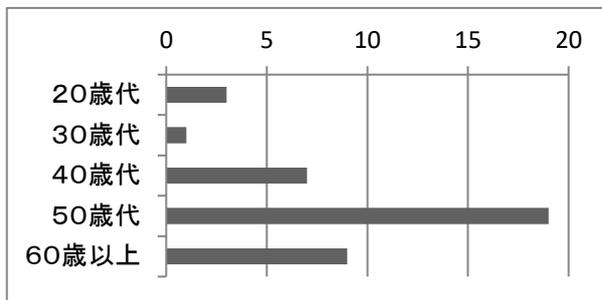
平成29年度人権教育指導者養成事業

「人権教育指導者研修会」アンケート集計結果

日時／平成29年8月22日(火) 場所／県庁 みやぎ広報室 参加人数／42名(アンケート提出39名)

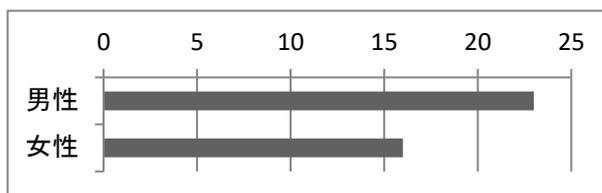
1 参加者の年齢構成

	人数	割合
20歳代	3	7.7%
30歳代	1	2.6%
40歳代	7	17.9%
50歳代	19	48.7%
60歳以上	9	23.1%
合計	39	



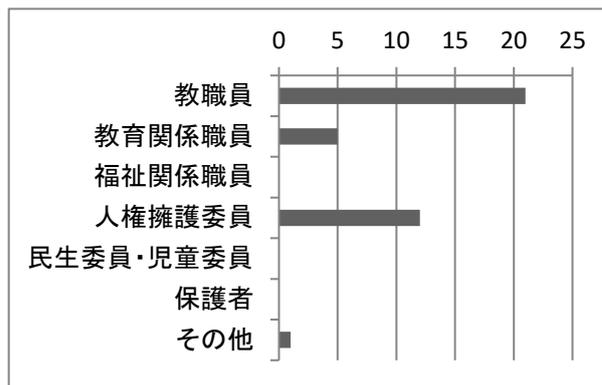
2 参加者の男女比

	人数	割合
男性	23	59.0%
女性	16	41.0%
合計	39	



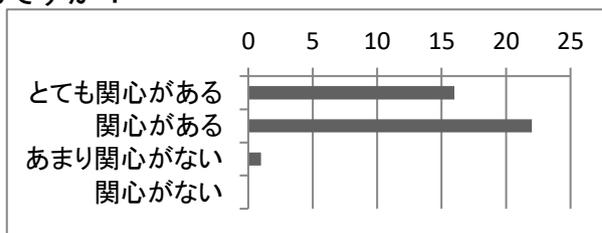
3 参加者の所属等

	人数	割合
教職員	21	53.8%
教育関係職員	5	12.8%
福祉関係職員	0	0.0%
人権擁護委員	12	30.8%
民生委員・児童委員	0	0.0%
保護者	0	0.0%
その他	1	2.6%
合計	39	



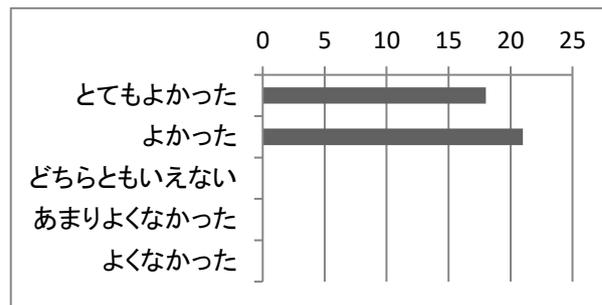
4 あなたは日頃、「人権」について関心をお持ちですか？

	人数	割合
とても関心がある	16	41.0%
関心がある	22	56.4%
あまり関心がない	1	2.6%
関心がない	0	0.0%
合計	39	



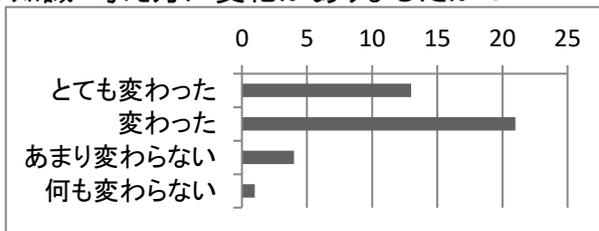
5 今日の研修会はいかがでしたか？

	人数	割合
とてもよかった	18	46.2%
よかった	21	53.8%
どちらともいえない	0	0.0%
あまりよくなかった	0	0.0%
よくなかった	0	0.0%
合計	39	



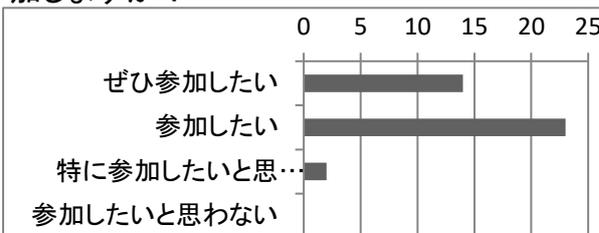
6 今日の研修会に参加して、「人権」についての知識・考え方に変化がありましたか？

	人数	割合
とても変わった	13	33.3%
変わった	21	53.8%
あまり変わらない	4	10.3%
何も変わらない	1	2.6%
合計	39	



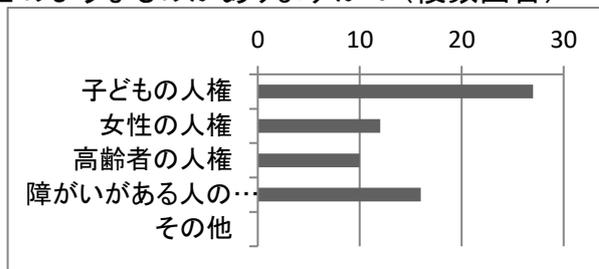
7 今後、「人権」について学ぶ機会があれば、参加しますか？

	人数	割合
ぜひ参加したい	14	35.9%
参加したい	23	59.0%
特に参加したいと思わない	2	5.1%
参加したいと思わない	0	0.0%
合計	39	



8 「人権」について今後聞いてみたい内容にはどのようなものがありますか？（複数回答）

	人数	割合
子どもの人権	27	385.7%
女性の人権	12	171.4%
高齢者の人権	10	142.9%
障がいがある人の人権	16	228.6%
その他	0	0.0%
合計	7	



※その他（自由記述）

「外国人、性的マイノリティ、社会復帰を目指している元犯罪者、教員、貧困家庭の子供、等」

9 本日の研修会に関してのご意見・ご感想をご記入ください。

- ・ 人間の歴史から見ると「群れ」のメンバーであることが生の保障であるということ、大変分かりやすく理解できました。社会科の教員として教科の中でも子供たちと人権について考えていきたいと思えます。
- ・ いじめが重要な人権問題だと言うことがよく分かりました。
- ・ 人権について改めてきちんと学ぶことができ勉強になりました。いじめは人権に大きくかかわっていることが分かり、今後の対応の参考になりました。
- ・ いじめは重大な人権侵害にあたるということを生物学的な背景からメカニズムを学ばせていただきました。教育現場でこそ人権教育を推進していく必要があることが改めて分かりました。学校は人間社会の縮図であるため、他者とのかかわりが多い。だからこそ児童生徒はもとより、私たち大人が広く学ぶことが肝要だと思いました。
- ・ いじめ問題の解決に当たって、人権意識の啓発は欠かせないものだと感じていましたが、日本の教育全般（学校教育、社会教育、家庭教育）に中では、なおざりにされてきたように思います。生物学的なお話は、非常に納得できるもので、今後は教育に生かしていきたいと思えます。
- ・ 人類学から見た人権としてためになりました。
- ・ 人権について考えを深めることができた。本日の内容を同僚と共有し、児童生徒の指導に生かしていきたい。
- ・ 前半は堅苦しい感はありましたが、中後半より「ホモサピエンス」の群れの行動と人権やいじめのからみが大変おもしろく、分かりやすく勉強になりました。学校現場のつらさもよく分かっていますが、今後もこういった研修を糧に頑張してほしいと思えます。

<ul style="list-style-type: none"> 人権教育に関して、国連の取組を受けて、学校を人権教育の場ととらえ、その大切な役割を担うのは教師であることを協調していただき、やはり学校現場の取組と役割は非常に大切だと思いました。併せて日常の学校生活の中で人権を意識した考えや行動を意図的に意識して実践していく必要性を感じました。
<ul style="list-style-type: none"> 群れの中で、どう認められるのか、どう認めるのか、どう協力するのか等、「生きる」という営みと自分をしっかり見つめていける「力」を高めるように支援していきたいと思った。いじめにおいて傍観者の指導をどうすればいいのかヒントをもらったような気がします。
<ul style="list-style-type: none"> 学校現場を見てみると、「人権教育」の言葉はいきかがや、実際のところ生徒への指導の場には、まだまだ理解されていない感がある。「いじめ問題」でも直接関係があることを考えれば、必要な教育指導でなければならないと感じました。本日の研修会とても勉強になり現場での活用(人権教育)を実践できる環境づくりをしていきたいと思えます。
<ul style="list-style-type: none"> 人類学の視点から「人権」を考える良い機会となりました。人間理解を意識して、今後も仕事に努めたいと思いました。
<ul style="list-style-type: none"> 人間として生きるための権利として、進化、心理、生理的遺伝等から現在につながる部分の説明等、大変興味深かった。学校は人権教育の実践の場、教師は実践者の言葉に納得する面とプレッシャーを感じた。逆に家庭の中で教育する場面は何か、自分なりに考える機会になった。
<ul style="list-style-type: none"> 脳科学の面からアプローチや群れにおける人間の視点がとてもおもしろくて参考になりました。
<ul style="list-style-type: none"> 教育計画の中に「人権教育」の項立てはあるものの、学校教育の中核となっているのかというとそうではないことを改めて心に留め、子供たちに向き合わなければならないと感じた。
<ul style="list-style-type: none"> 学校現場における「いじめ問題」への対応は、喫緊の課題である。人権教育は学校現場において教師が実践すべき教育で有り、「いじめ問題」解決のために必要な教育であることを改めて理解できた。本日は「人権」について人間が現代までいどのように生きてきたか、経験を積んできたか等、深く掘り下げ分かりやすく説明していただいた。興味を持って受講できた。
<ul style="list-style-type: none"> いただいた示唆から自分なりに考えて実践してみたいと思えます。
<ul style="list-style-type: none"> 「群れ」から外れたら死がまっている。」というのは衝撃的であった。一人一人の子が群れから離れていかないように、我々がしっかりと見ておく必要があると感じた。
<ul style="list-style-type: none"> いろいろ学校でのことを振り返る機会になりました。子供たちの環境、大人を巻き込んでやめさせる取組がスウェーデンで行われている。さて、日本ではと考えると、いろいろなメディア(テレビ、ゲーム)などで暴力でできあつたり、人権を無視した映像も多くあるように感じています。学校内だけでなく、取り巻く環境にも目を向けなければと思いました。もっと多くの参加があると良かったです。
<ul style="list-style-type: none"> 子どもがまず存在する「家族」という群れの中で、群れでのルール、過ごし方、マナー等を学ぶのだと思えます。ここでの学びがしっかりしていれば、次に子どもが所属する「群れ」の中でも、ある程度他を尊重し、受け入れていけると思いますが、それがなされていない今、学校だけでなく「人権」を教えていくことの難しさを感じます。また、教員の「群れ」について初めてしっかりと学ぶことができました。
<ul style="list-style-type: none"> ①体罰・暴言がいけないのはわかるが何故なのか？それは学校が人権教育の実践の場であり、教師は人権教育実践のモデルでなければならない。→「生き方」を見せなさい。ということに強く心を動かされました。 ②いじめ撲滅宣言の中で、「いじめをしない、させない、無視しない」という文言の中に、ぜひ「私には誇りを持って生きる権利がある」と胸を張って言う場面をつくりたい。 「卵が先か、鶏が先か」になってしまうが、今の日本は学力向上のみが優先されている気がする。スイスの教育のように、次世代の子どもを育てるために何が教育現場に必要なのかをしっかりと考えるときではないか。管理職を退き、再任用3年目の今、ここをしっかりと自分で考えたい。
<ul style="list-style-type: none"> 本研修会は、自分の携わる人権擁護委員の立場は、人権啓発というものであり、学校教育で行われている人権教育とは結成手同じ機能ではない。三條先生の御講話は、今回で3回目であるが、いつも学校における人権教育の位置づけについて興味深く聴講できました。「いじめ」に関しての学校・教師の役割が現場に浸透できたらしい。
<ul style="list-style-type: none"> 三條先生の講演をお聞きして、群れの中で生きてきた人間は、認められることで存在感を実感できるのだということが分かりました。それぞれの子どもの居場所があること、「いじめ」のない学校ではなく、「子どもの人権が守られる」学校こそ、大事だと深く考えさせられました。学校における「人権教室」を頑張りたいと思えます。
<ul style="list-style-type: none"> 何も分からぬまま人権擁護委員として一年がすぎましたが、「人権」の意味がほとんど理解できませんでした。今回の講演で、脳生理学の視点から解釈を試みている点は興味深く思いました。考える点でとっかかりができた気がします。